

令和7年2月吉日

山形県理学療法士会会員各位

一般社団法人山形県理学療法士会
会 長 岩井 章洋
学 術 局 長 大森 允
第33回山形県理学療法学会
大 会 長 菅野 英雄
準 備 委 員 長 関原 雅人

第33回山形県理学療法学会の開催および演題募集について（演題募集延長）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃から当会活動に多大なご協力を賜りまして感謝申し上げます。

この度、第33回山形県理学療法学会を下記により開催いたします。テーマを『後の先をとる～一次予防に理学療法士として備える～』と題して、特別講演、教育講演、シンポジウム及び演題発表等を企画し、盛大な大会になるよう準備を進めております。つきましては、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

また、別添の募集要項により理学療法および関連分野に関するあらゆる演題を募集いたします。募集要項をご確認の上、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

大会名：第33回山形県理学療法学会

会 期：令和7年6月21日（土）・22日（日）

会 場：高島町文化ホール・まほら（高島町）

テーマ：『後の先をとる～一次予防に理学療法士として備える～』

大会長：菅野 英雄（三友堂病院）

大会参加費：会員 3,000円、学生 無料

<添付文書>

- ・第33回山形県理学療法学会趣意書
- ・第33回山形県理学療法学会演題募集

第33回山形県理学療法学会趣意書

テーマ「後の先をとる～一次予防に理学療法士として備える～」

第33回山形県理学療法学会会長
菅野 英雄

2013年に「理学療法士が介護予防事業において転倒予防などを目的として身体に障がいがない者に対しても診療の補助に該当しない範囲の業務を行うことができる」ようになったことを契機に、予防分野における理学療法士の活躍が期待される機運が一気に高まりました。当会でも一般県民向けに予防事業を展開しており、一次予防に対しても目を向けてきました。予防分野は非常に幅広く、学童期、青年期世代の成長や怪我に関する予防、超高齢社会を支える側の壮年期、中年期の生活習慣病予防、高年期に対する介護予防など多方面にわたっており、我々が社会に貢献するために非常に重要な分野であると感じています。高齢者施設での予防体操は理学療法士だけでなく多職種が介入して取り組み、腰痛予防に対しては協会の事業として理学療法士が貢献できることを示すべきとしています。経済的には、医療費や介護保険料の削減に寄与し、また健康寿命の増進の観点からも病気や疾患を未然に防ぐことが重要になっており、これからの予防事業は経済損失の予防や社会保障改革の一助としても求められています。そのような状況の中で、我々理学療法士が運動の専門家として社会に貢献していかなければならないと考えています。

そこで本学会のテーマを「後の先をとる～一次予防に理学療法士として備える～」としました。後の先をとる（ごのせんをとる）とは武道や将棋などで、相手の攻撃に応じながら反撃する、相手の攻めにゆとりをもって受ける、のような意味で使用されています。それを実践するには練習を重ね、十分に準備し、備えておかなければなりません。我々理学療法士はこれまで培ってきたエビデンスや経験を基として、相手の動作をみて、要望に応えられるような治療技術や動作方法の提案を提供しているため、「後の先をとる」と「理学療法」には共通する部分を感じています。医師の指示の下で行われる理学療法は二次予防や三次予防に関わることがほとんどですが、疾病の予防や経時変化によるリスクに対しても個別に適切なアドバイスができる能力を有しているにも関わらず、その経験は少ないのが現状です。本学会では一次予防を取り上げ、理学療法士の強みである身体機能を考慮した個別性を持った予防活動を行っている先生方からの取り組みを紹介し、今後の実践につなげられる学会にしたいと考えています。

特別講演では大淵修一先生をお迎えし、2040年を展望とした社会保障改革に対して、どのように備えていくか社会情勢を見据えたご講演をいただきます。シンポジウムでは職場における腰痛予防、ウィメンズヘルス、スポーツ分野で活躍されている理学療法士からの一次予防の取り組みを聞き、今後の展望や課題の議論を深めていきたいと思っております。教育講演では大工谷新一先生をお迎えし、学童期の発達時期に対して、学校検診の知見も踏まえながらご講演いただく予定で準備を進めています。市民公開講座は、ALS患者の家族介護当事者の視点と理学療法士の視点から星真行先生をお迎えし、講演していただきます。

本学会を契機に、予防に寄与する理学療法を展開する機会が増え、有用なアウトカムを得られた研究や実績が将来多数報告されることになれば、皆様への有益な情報につながると信じております。会員皆様のご参加を運営スタッフ一同、心からお待ちしています。

第33回山形県理学療法学会大会演題募集要項

【応募資格】

1. 筆頭演者は、一般社団法人山形県理学療法士会の会員の方に限ります。
2. 会員でない方は、演題応募までに会員登録手続きを行ってください。

【応募方法】

1. 山形県理学療法士会ホームページ「抄録サンプル」をダウンロードしていただき、抄録を作成してください。
2. 下記応募先のメールアドレスまで、抄録を添付し演題の登録をお願いします。
3. 電子メールの件名は、『第33回山形県理学療法学会大会演題申込み』とし、電子メール本文には以下の項目を明記してください。
 - ① 筆頭演者氏名
 - ② 日本理学療法士協会会員番号
 - ③ 所属施設（自宅会員の場合は自宅）
 - ④ 所属施設住所（自宅会員は住所）
 - ⑤ 連絡先電話番号
 - ⑥ 連絡先電子メールアドレス
 - ⑦ 発表タイトル
 - ⑧ 発表形式（口述、ポスター一般、ポスター新人症例発表から一つを選択）
※登録理学療法士未満の方をポスター新人症例発表とする
 - ⑨ 研修理学療法士、登録理学療法士のどちらかを記載
（研修理学療法士は前期研修 / 後期研修を履修中の方を指します）
 - ⑩ 認定・専門理学療法士の有無（有りの場合、領域についてもお知らせください）
4. 筆頭演者本人のメールアドレスで登録をお願いします。尚、こちらから添付ファイルをお送りすることもございますので、携帯電話のメールアドレスでの登録はできません。
5. 応募先：gakkai2025@gmail.com

【登録期間】

~~令和6年12月6日（金）～令和7年1月31日（金）~~
令和6年12月6日（金）～令和7年2月28日（金）

【発表形式】

1. ①口述発表、②ポスター発表の2つの形式から選択してください。
2. 筆頭演者としての発表は1人1演題としてください。
3. プログラム編成の都合上、希望した発表形式を変更していただく場合があります。予めご了承ください。
4. 発表時間、会場に用意する発表用PC、ポスター掲示板のサイズ等の機材詳細は、抄録集、山形県理学療法士会ホームページなどで後日お知らせします。

【生涯学習制度 ポイントおよび点数について】

1. 詳細は、日本理学療法士協会「生涯学習制度について」を熟読してください。
生涯学習制度では、登録理学療法士更新は「ポイント」、認定・専門理学療法士更新は「点」と区別しています。ご自身の履修状況は、日本理学療法士協会マイページから確認できます。
2. 大会参加で付与されるポイントおよび点数は、以下の通りです。
※ 申し込みについては、JPTA アプリを利用した申し込みとなる予定です。
※ 申し込み時に以下の履修目的を1つ選択してください。
 - 1) 登録理学療法士更新 : 8ポイント
 - 2) 認定・専門理学療法士更新 : 学術大会8点
 - 3) 専門理学療法士取得 : (申請要件) 都道府県学会への参加

【演題応募に関する注意点】

1. 「ヘルシンキ宣言」または「臨床研究に関する指針」などの倫理的問題について演者の責任で遵守されるようお願いいたします。
2. プライバシーや人体に影響を与える内容に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に必ず明記してください。※可能な限り文書で同意を得ることが好ましい。
3. 演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を抄録中に記載してください。
4. 倫理的に不適切な内容の演題については、学術大会部で協議し、修正をお願いするか不採用となる場合があります。
5. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
6. 内容の類似した複数演題および他学会や雑誌等で発表済みの演題応募はご遠慮ください。
7. 第33回山形県理学療法学会では、利益相反（COI）の有無に関わらず、発表スライドまたはポスターにてCOIの開示をお願いします。COIについての抄録への記載は不要ですが、申告すべき事項や条件については、演題登録前に必ず確認してください。申告すべき事項と条件は日本理学療法士学会の基準に準じます。

【http://www.japanpt.or.jp/upload/jspt/obj/files/shinsa/jspt_coi.pdf】

【抄録について】

※当会ホームページから抄録サンプルをダウンロードしてご使用ください。

1. レイアウトは2段組みとし、余白は上下・左右とも20mmとしてください。英数字は半角としてください。
2. 演題番号は受付後、こちらで記入しますので入力しないでください。
3. タイトルは日本語用フォントをMSゴシック、英数字用のフォントはCenturyを使用し、フォントサイズを10ptとし、太字としてください。
4. 氏名・所属・キーワード・本文は日本語用フォントをMS明朝、英数字用のフォントはCenturyを使用し、フォントサイズを8.5ptとしてください。
5. 所属施設名は省略形を用いないもっとも短い表記を心がけてください。また、可能な限り法人名ならびに部署名を省略いただくとともに、同部署から複数の演題を登録する場合は、同一の施設名称に統一してください。
6. キーワードは標準的な用語で単語一語とし、カンマ(,)区切りで3個以内を記載してください。
7. 本文は、文字数を日本語全角換算（半角英数字は2文字で1文字）で1,500字以内とし、【はじめに・目的】・【対象及び方法】・【説明と同意】・【結果】・【考察】・【まとめ】などの小見出しを必ずつけてください。小見出しも文字数に換算されます。【対象及び方法】・・・症例発表の場合は、【症例紹介】・【初期評価】と変更していただいても結構です。また、理学療法プロセスにしたがって、【問題点】・【目標設定】・【治療】・【経過】を追加していただいても構いません。【説明と同意】・・・対象者に説明と同意を得た場合はその旨を本文中に必ず明記してください。倫理委員会の承認がある場合は、抄録中に記載してください。例：理学療法士大学倫理委員会の承認を得た（承認番号：〇〇〇番）症例発表の場合は、【症例紹介】の次に記載してください。
8. 本文の行間は最小値とし、2段組みの1段分の範囲に納まるようにしてください。
9. 本文は、可能な限り文章表現での記載を心がけてください。
10. 句読点は「、。」ではなく「, .」を使用してください。
11. 抄録に図表は使用できません。また、参考文献の記載の必要はありません。
12. 装飾文字の使用は次の5種類(太文字、イタリック文字、アンダーライン、上付き文字、下付き文字)のみとしてください。
13. 文字種は入力出来ているものは使用可能です。

【演題の採択について】

1. 演題を応募していただいた後、学術大会部より受付完了の通知を連絡します。
2. 受付完了後は抄録の修正はできませんので、予めご了承ください。
3. 学術大会部で査読後、演題の採否を決定します。
演題採択結果は応募していただいたメールアドレスに後日連絡します。
なお、採択後は取り消しができませんのでご了承ください。

【個人情報保護について】

1. 本学会の演題登録の際にお預かりいたしました「氏名」、「連絡先」等の個人情報は、山形県理学療法士会学術局（学術大会部、学術誌部）よりお問い合わせや採否・発表通知に使用します。「演者名」、「所属」、また、「演題名」、「抄録本文」は、プログラム・抄録集に掲載することを目的として利用します。他の目的には使用しません。

数多くの応募をお待ちしております。

なお、不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

応 募 先：〒992-0033 米沢市福田町2丁目1-55
学術大会部 三友堂病院 中野 裕也
TEL：0238-24-3700 FAX：0238-24-3709
E-Mail：gakkai2025@gmail.com

問い合わせ：〒992-8502 米沢市相生町6-36
準備委員長 米沢市立病院 関原 雅人
TEL：0238-22-2450（代）E-mail：ytdtj647@yahoo.co.jp

以上